

石<sup>いし</sup>

の

知<sup>し</sup>

る

辺<sup>べ</sup>

是恒さくら

本・刺繍・写真展

アメリカ・ニューヨーク州  
ロングアイランド  
先住民シネコックに  
鯨の物語をたずねて

北海道立北方民族博物館  
2021年1月5日(火)～1月24日(日)



## 石の知る辺

いしのしるべ

「シネコック」とは「石の多い浜の人々」という意味だという。ロングアイランドの浜辺は、場所によってさまざまな表情を見せる。美しい白い砂浜、静かな石の多い浜、ガラスのように透明な小石や、色とりどりの小石でいっぱいの浜もある。土地の古い名前とそこにあった物語を知ると、風景は知らなかった姿を見せる。物語は、誰かの眼差しで世界を見る窓であり、時を超えるものでもある。

(『ありふれたくじら』Vol.6: シネコック・インディアン・ネーション、ロングアイランド より)

人と鯨の間の物語への関心から、国内外さまざまな土地を訪れてきた美術家・是恒さくらは、各地の鯨にまつわる採話を刺繍の挿絵とともに纏めた小冊子シリーズ『ありふれたくじら』を制作・発行してきました。最新号となる『ありふれたくじら Vol.6』は、アメリカ・ニューヨーク州ロングアイランドの先住民シネコックの人々と鯨の結びつきを伝え、2020年8月に発行されました。本展覧会では、是恒のロングアイランドへの旅の記録の写真とともに、現地で採話されたエピソードやそこから着想された刺繍作品を紹介します。

是恒さくら (これつね さくら)

美術家。1986年広島県生まれ。宮城県在住。2010年アラスカ大学フェアバンクス校卒業。2017年東北芸術工科大学大学院修士課程地域デザイン研究領域修了。アラスカや東北各地の捕鯨、漁労、海の民俗文化についてフィールドワークと採話を行い、リトルプレスや刺繍、造形作品として発表。2016年より、リトルプレス『ありふれたくじら』を発行 (Vol.1～6 既刊)。グループ展、個展など多数開催。

2018年より東北大学東北アジア研究センター学術研究員。

website: [www.sakurakoretsune.com](http://www.sakurakoretsune.com)

アメリカ・ニューヨーク州  
ロングアイランド

先住民シネコックに  
鯨の物語をたずねて

是恒さくら

本・刺繍・写真展

- | 会 期 | 令和3年(2021年)1月5日(火)～1月24日(日)  
\*1月12日(火)、18日(月)は休館日
- | 開館時間 | 午前9時30分～午後4時30分
- | 会 場 | 北海道立北方民族博物館 ロビー  
(〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1  
電話 0152-45-3888 / FAX 0152-45-3889)
- | 主 催 | 北海道立北方民族博物館  
東北大学東北アジア研究センター
- | 観 覧 料 | 無料
- | website | <http://hoppohm.org/>

《観覧時には新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。》

| 関連イベント |

解説会/アーティスト・トーク (講師: 是恒さくら)

1月10日(日) 午前10時～11時

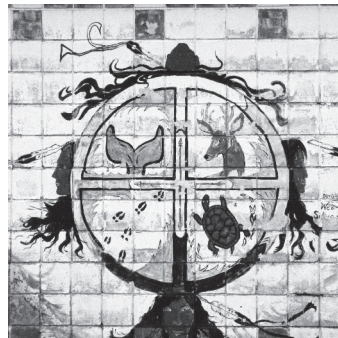
定員 20名

- ・都合により内容や日時が変更になることがあります。
- ・もよおしに参加を希望される方は電話でお申し込みください。

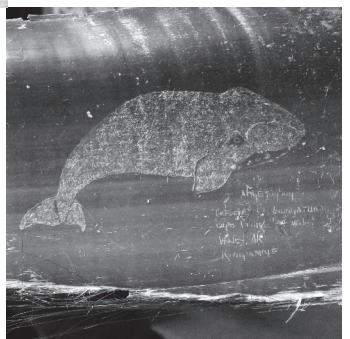
【申し込み・問い合わせ: 電話 0152-45-3888】

施設設置者 北海道教育委員会

(連絡先: 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表電話 011-231-4111)



左: シネコック・コミュニティ・センターの壁画 (シネコック・インディアン・ネーション、2019年3月)



右: ホッキョククジラの絵が刻まれた鯨ヒゲ (シネコック・インディアン・ネーション、2019年3月)